

LEVEL  
2

わたし かれし  
私の彼氏は  
あぶら あ す  
油揚げが好き



朗読音声のダウンロード  
Audio download

よ まえ  
★読む前に Before you read

たどく よ かた  
《多読の読み方》

たどく ほん たの よ にほん  
多読とは、とてもやさしい本から楽しくたくさん読んで日本  
ご みを身につけていく方法です。

つぎ まも たの よ  
次の4つのルールを守って楽しく読みましょう。

1. やさしいレベルから読む
2. 辞書を引かないで読む
3. わからないところは、とばして読む
4. 進まなくなったら、他の本を読む



《How to do Tadoku》

Tadoku recommends that everyone should start with very easy books and enjoy a lot of them following the 'Four Golden Rules' below.

1. Start from scratch.
2. Don't use a dictionary.
3. Skip over difficult words, phrases and passages.
4. When the going gets tough, quit the book and pick up another.



あるところに、<sup>ちい</sup>小さい<sup>まち</sup>町がありました。

この<sup>まち</sup>町には、<sup>むかし</sup>昔から、<sup>きつね</sup>狐が<sup>で</sup>出てくる  
<sup>ふし</sup>不思議な<sup>はなし</sup>話がたくさんあります。

その<sup>まち</sup>町に、<sup>にの</sup>ニノさんが<sup>ひ</sup>引っ越して<sup>こ</sup>来  
ました。



この<sup>まち</sup>町の<sup>ゆうめい</sup>有名な<sup>た</sup>食べ物<sup>もの</sup>は「<sup>きつね</sup>きつねそば」  
です。<sup>にの</sup>ニノさんの<sup>いえ</sup>家の<sup>ちか</sup>近くにも、<sup>おそば</sup>おそば  
<sup>や</sup>屋さんがあります。

きつねそばは、どうして  
「きつね」なんですか。

きつねそばには、<sup>あぶら</sup>油揚げ<sup>あ</sup>が入<sup>はい</sup>っ  
ていますよね。<sup>あぶら</sup>油揚げは、<sup>むかし</sup>昔か  
ら、<sup>きつね</sup>狐の<sup>す</sup>好きな<sup>た</sup>食べ物<sup>もの</sup>だと言わ  
れています。だから「きつね  
そば」と言<sup>い</sup>うんです。



にの  
二ノさんは、この町で友だちがほし  
かったので、マッチングアプリを始め  
ました。そして、ツネキくんと仲良くなり  
ました。



まち なつまつ  
町の夏祭りで、にの  
ツネキくん  
と会いました。

——かっこいい!——

にの  
二ノさんは、うれしくなりました。



ふたり きんぎょ  
2人で「金魚すくい」をしました。



それから、きつねそばを<sup>た</sup>食べました。  
ツネキくんは、<sup>あぶらあ</sup>油揚げを<sup>おい</sup>しそうに  
<sup>た</sup>食べました。ツネキくんは<sup>あぶらあ</sup>油揚げが<sup>だいす</sup>大好  
き<sup>に</sup>なんだと、<sup>おも</sup>ニノさんは<sup>おも</sup>思いました。



それから「射的」をしました。ニノさんは狐のおもちゃがほしいと思いました。



ばん！

ニノさんは鉄砲でおもちゃを撃ちました。

ツネキくんは、びっくりして、狐になってしまいました。ツネキくんは、本当は狐だったのです。

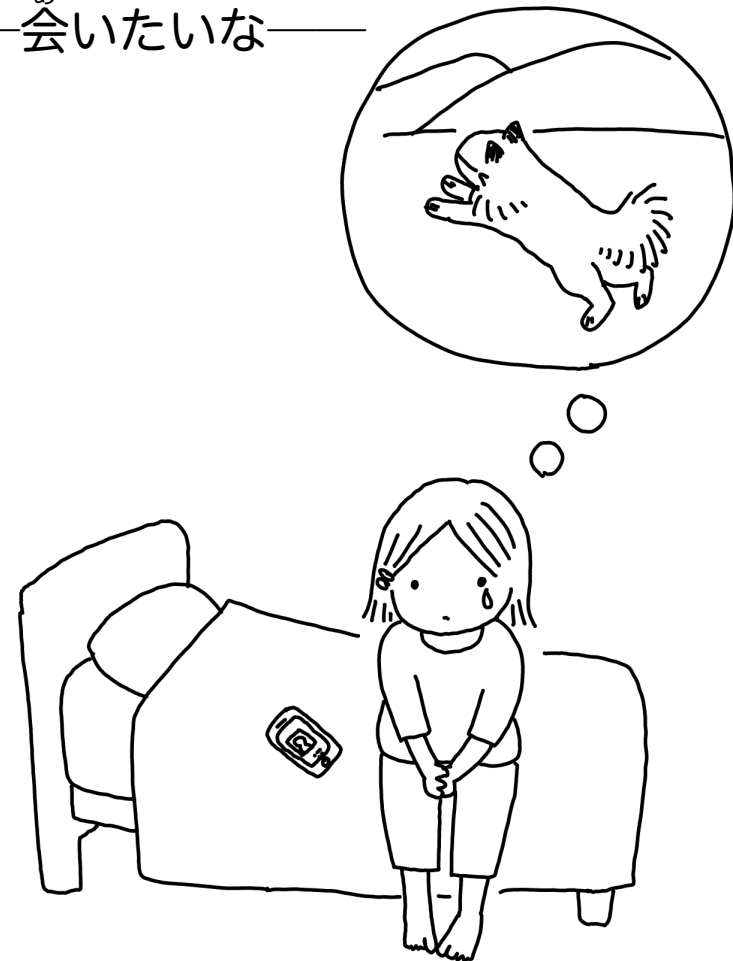


すぐに、ツネキくんは山の方へ逃げて  
い  
行きました。



ニノさんは電話をしましたが、ツネキ  
くんに電話に出ません。でも、ニノさん  
はツネキくんを忘れることができませ  
ん。

—あ—  
会いたいな—



に の <sup>かんが</sup>  
ニノさんは考えました。

——そうだ！ <sup>つねき</sup> ツネキくんは <sup>あぶらあ</sup> 油揚げが  
<sup>す</sup> 好きなんだ——

すぐにニノさんは、おそば屋さんで  
<sup>あぶらあ</sup> 油揚げをもらいました。



に の <sup>あぶらあ</sup> <sup>も</sup> <sup>やま</sup> <sup>い</sup>  
ニノさんは油揚げを持って、山に行き  
ました。

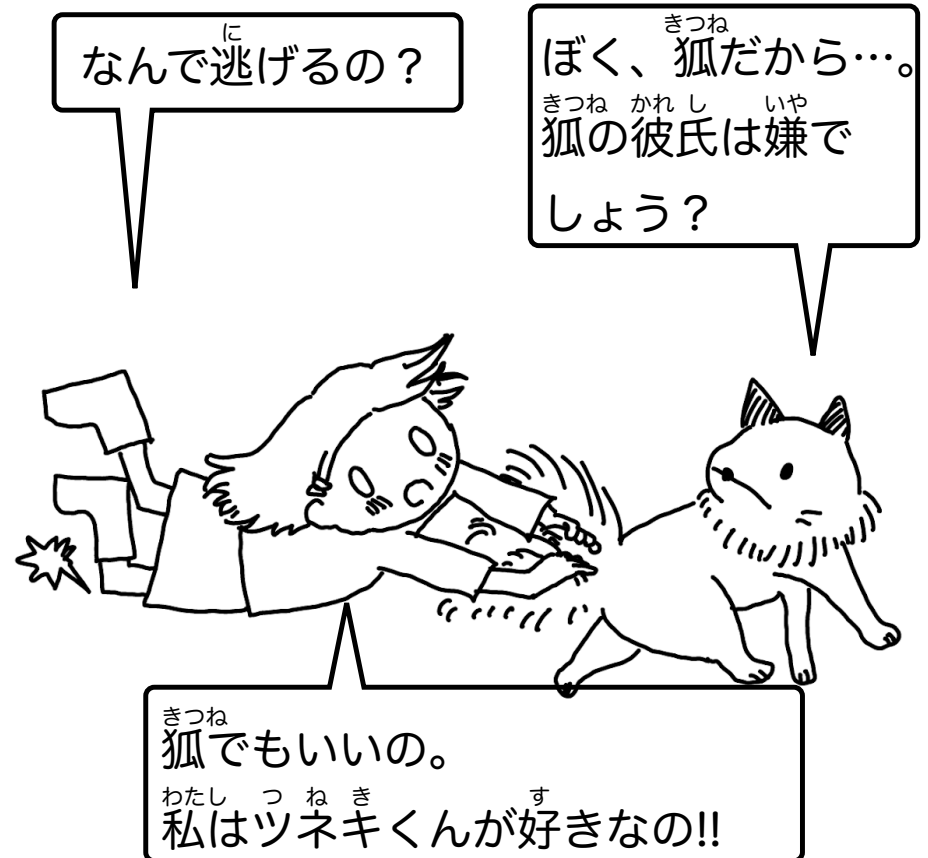




にの あぶらあ お つねき  
ニノさんは油揚げを置いて、ツネキ  
くんを待ちました。  
すると、ツネキくんが来ました。



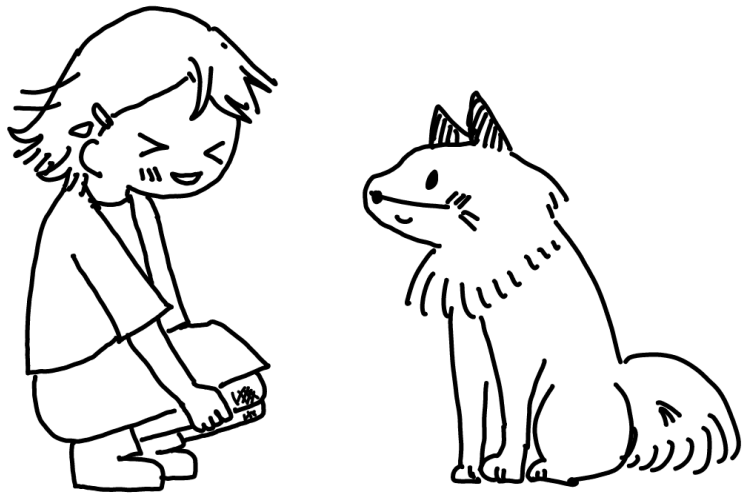
つねき  
「ツネキくん！」  
「あ、にの  
ツネキくんはびっくりして逃げました。  
にの つねき しっぽ  
ニノさんはツネキくんの尻尾をつかま  
えました。





ふたり  
2人はもっと仲良くなりました。  
なかよ

ほんとう  
本当？  
じゃあ、  
こんど やま  
今度は山で  
でーと  
デートしようよ。





わたし かれし あぶら あ す  
**私の彼氏は油揚げが好き**

発行 : 2024年4月24日

作 : くどうみさと、<sup>はらちひろ</sup>原千裕、Hao Wenyu、  
<sup>はやしみゆき</sup>林実幸

イラスト : くどうみさと

監修 : NPO多言語多読

この作品はJSPS科研費21K00603の助成を受けた  
研究のためのプロジェクトワークの成果物です。



TADOKU  
Supporters

**NPO多言語多読**

tadoku.org



この作品はクリエイティブ・コモンズ表示-非営利-改変禁止4.0国際ライセンス  
の下に提供されています。

This book is licensed under CC BY-NC-ND 4.0

<https://creativecommons.org/licenses/by-nc-nd/4.0/>